

福岡市総合図書館

映像ホール

FUKUOKA CITY
PUBLIC LIBRARY
MOVIE HALL

シネラ NEWS

10

OCTOBER

1997 No.15



悲しき口笛

■特 集■

韓国映画の巨匠
林権澤 監督特集

韓国ニューウェーブの旗手
李長鎬 監督特集

「歌う映画」の特集
映画の中の歌声

■特別企画■

シネラシネマテーク Vol.3

アメリカ映画史の巨人

ジョン・フォード監督特集

福岡市民芸術祭協賛

第5回福岡映像コンテスト



我が谷は緑なりき

特集 | 韓国映画の巨匠

林権澤 監督特集

現代韓国映画を代表する巨匠・林権澤 (イム・グォンテク) 監督の代表作を特集。



林権澤

会期: 10月1日(水)

観覧料: 500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

特集 | 韓国ニューウェーブの旗手

李長鎬 監督特集

80年代に起こった韓国ニューウェーブの旗手として活躍した李長鎬 (イ・チャンホ) 監督の代表作4本を特集。



寡婦の舞

会期: 10月2日(木)~10月5日(日)

観覧料: 500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

風吹く良き日

10月2日(木) 14:00/10月4日(土) 15:00

1980年/35ミリ/カラー (113分) [韓国]

監督: 李長鎬 (イ・チャンホ)

出演: 安聖基 (アン・ソンギ)



80年代韓国ニューウェーブの先駆的作品。近代化が進むソウルの裏町を舞台に地方からやってきた三人の若者が、未来に希望を持ちながら馴れない都会生活を営む青春映画である。鬱屈した若者のナイーブな心情が良く表現されており、特にトップを演じた安聖基は、子役からの脱皮を見事に果たし、韓国映画を代表するスターに成長する。

シバシ

10月1日(水) 14:00

1986年/35ミリ/カラー (95分) [韓国]

監督: 林権澤 (イム・グォンテク)

主演: 姜受延 (カン・スヨン)



李氏朝鮮時代の末期、跡継ぎの生まれない家のために、正妻の了解を得て主人の子を宿すシバジ (代理母) という制度があった。シバジは自分の産んだ子の顔も見ることができず、屋敷を追い出される。この作品は、若い女性がシバジとならざるを得ない不幸を描いており、封建的な制度を疑問視している。若きシバジを熱演する姜受延は、この作品でヴェネチア映画祭主演女優賞を受賞。

キルソドム

10月1日(水) 19:00

1985年/35ミリ/カラー (95分) [韓国]

監督: 林権澤 (イム・グォンテク)

主演: 金芝美 (キム・ジミ)



主人公の女性・ファオンは現在、上流階級の生活をしているが、10代の頃、故郷のキルソドムで青年トンジンと愛し合い、男の子を産んだ過去があった。ある日ファオンは思いがけずトンジンと再会し、自分たちの子供を探しにいく。南北分断の悲劇を扱った映画は多いが、この作品はあくまでも家族一人一人に焦点をあてており、このジャンルの傑作と評価は高い。

馬鹿宣言

10月2日(木) 19:00/10月4日(土) 11:00

1983年/35ミリ/カラー (97分) [韓国]

監督: 李長鎬 (イ・チャンホ)

出演: 李甫姫 (イ・ボヒ)



一人の娼婦と彼女にまわりつく二人の男を主人公とし、簡単な脚本とリアリズムを否定した即興的な演出で撮影された本作は、閉塞的な時代を戯画的に表現した作品として国際的に高く評価され、李長鎬監督の名前を一躍有名にした。通常の物語を大きく逸脱し、奇抜な発想と前衛的な手法で演出された80年代韓国映画の傑作である。

寡婦の舞

10月3日(金) 14:00/10月5日(日) 15:00

1983年/35ミリ/カラー (108分) [韓国]

監督: 李長鎬 (イ・チャンホ)

出演: 李甫姫 (イ・ボヒ)



恋人に捨てられたヒロインのマルスクは、結婚詐欺の常習者となって逮捕される。出所後子連れで男と所帯を持つが、今度はインチキ宗教にだまされてしまう。波乱万丈の人生を送りながらもマルスクは絶望することなく逞しく生きていく。李長鎬監督はこの作品の中で、異なる手法を混在させる前衛的な演出を行っている。

旅人は休まない

10月3日(金) 19:00/10月5日(日) 11:00

1987年/35ミリ/カラー (104分) [韓国]

監督: 李長鎬 (イ・チャンホ)

出演: 金明坤 (キム・ミョンゴン)



妻を亡くして居所を失った主人公スソク・ソクの遍歴を描いた作品。妻の出身地である北朝鮮に行くこともできず、妻と生き写しである看護婦との愛を成就することもできずにさすらい主人公の姿が、哀切を込めた映像で表現されている。李甫姫が死んだ妻と看護婦の二役を演じている。李長鎬監督の土着信仰への回帰が色濃く反映されている。東京国際映画祭国際批評家協会賞受賞。

特集 | 「歌う映画」の特集

映画の中の歌声

ミュージカルやオペレッタといった舞台芸術の一形式がトーキー以降、多くの映画作品の中に影響を与えている。日本でも主に娯楽映画の中にその系譜がつづられていった。戦前から1960年にかけて多く製作された「歌う映画」の特集。

会期: 10月15日(水)~10月19日(日)

10月22日(木)~10月24日(金)

10月29日(水)・30日(木)

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制 ※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。また福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)



悲しき口笛

ほろよい人生

10月15日(水) 14:00/10月16日(木) 19:00

1933年/35ミリ/モノクロ (77分) [P.C.L.]

監督: 木村莊十二 出演: 千葉早智子



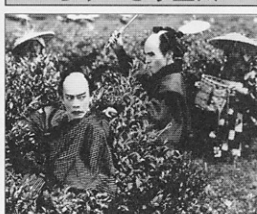
駅のホームでビールの売り子をするエミ子。同じくアイスクリームを売るトク吉。トク吉には、いつの日かお金をためエミ子と一緒に大きなビアホールを持ちたいという夢があった。ところがエミ子は毎日ビールを買いにくる音楽学校の学生アサオのことが気になっていた。東宝の前身であるP.C.L.の第1回作品であり、日本で最初の音楽喜劇である。

ちゃつきり金太

10月15日(水) 19:00/10月16日(木) 14:00

1937年/35ミリ/モノクロ (74分) [P.C.L.]

監督: 山本嘉次郎 出演: 榎本健一



30年代から40年代にかけて人気を誇ったコメディアン・榎本健一主演映画の代表作。財布と一緒に勤王派の密書をスッてしまった金太は、薩摩の侍と岡っ引きに追われることになる。追手を逃れ西へ放立つ金太だが、行く先で数々の事件が巻き起こる。榎本健一の特徴を良く引き出したドタバタ喜劇の傑作。

鴛鴦歌合戦

10月17日(金) 14:00/10月18日(土) 11:00

1939年/35ミリ/モノクロ (69分) [日活]

監督: マキノ正博 出演: 片岡千恵蔵



時代劇でミュージカルという変わり種映画だが、この作品は日本映画のミュージカルとしては例外的に成功した作品である。貧乏浪人・浅井利三郎は長屋の隣に住むお春と恋仲であったが、色男の利三郎には多くの娘が言い寄ってくる。そして今度は若殿様がお春を目染めてしまう。若殿様のディック・ミネや志村喬の渋い歌など楽しき一杯の作品である。

歌う狸御殿

10月17日(金) 19:00/10月18日(土) 15:00

1942年/35ミリ/モノクロ (87分) [大映]

監督: 木村恵吾 出演: 宮城千賀子



臨戦体制の日本映画界で製作されたミュージカル映画。人気歌手総出演で森の中の狸御殿において華やかな歌や踊りが繰り広げられる。絢爛たる歌と踊りによる娯楽映画で、軍は怒ったが映画は大ヒットした。本作と39年の「狸御殿」両作に主演した高山広子は一時狸女優とまで呼ばれることになる。

特別企画 | アメリカ映画史の巨人

シネラ シネマテーク Vol.3

ジョン・フォード監督特集

136本の作品を監督し6回アカデミー賞を獲得したアメリカ映画史の巨人、ジョン・フォードを特集。“西部劇の神様”といわれるジョン・フォードの西部劇以外の作品により知られざるフォード像を探る。

会 期：10月8日(水)～10月12日(日)

観覧料：800円(当日のみ)

※定員制、各回入替制

※チケットはすべて当日券、前売り券はありません。

※高齢者及び障害者割引はありません。



ジョン・フォード

我が谷は緑なりき

10月8日(水) 19:00/10月10日(金・祝) 11:00



1941年/35ミリ/モノクロ (118分) [アメリカ]

監督：ジョン・フォード

出演：ウォルター・ピジョン

1939年にアメリカでベストセラーとなった原作の映画化であり、ジョン・フォード監督の代表作の1本である。時代は1900年頃までで、主人公の少年が50年後に回想するという体裁をとっており、原作の階級批判的な要素は薄められているが、一つの家族が崩壊する年代記を通して、当時の社会が鮮明に浮かび上がる。アカデミー作品賞、監督賞等を受賞。

10月9日(木) 19:00/10月11日(土) 11:00

ミッドウェイ海戦

1942年/16ミリ/カラー (18分) [アメリカ] 監督：ジョン・フォード

真珠湾攻撃

1943年/16ミリ/モノクロ (82分) [アメリカ] 監督：ジョン・フォード



真珠湾攻撃

「ミッドウェイ海戦」はその前哨戦となった基地への襲撃を中心にしたドキュメンタリーで、フォード自身がカメラを回している。「真珠湾攻撃」は日本軍による真珠湾攻撃の真相に迫ろうとした作品で、91年に公開されるまで当局に没収されていた作品。当初フォードは短編ドキュメンタリーとして完成させる予定だったが、制作のG・トーランドが密かに劇映画として完成させている。



プリースト判事

10月8日(水) 14:00/10月11日(土) 15:00



1934年/16ミリ/モノクロ (79分) [アメリカ]

監督：ジョン・フォード 主演：ウィル・ロジャース

1890年頃ケンタッキーの田舎町で、流れ者が起こした暴力事件の裁判を南北戦争の傷跡を背景に描くハートウォーミングな作品。ジョン・フォードはウィル・ロジャースを主演に3本の映画を作っているが、これはその2本目の作品で、フォードの洗練された演出がアメリカ賛歌を奏でる。

周遊する蒸気船

10月9日(木) 14:00/10月12日(日) 11:00



1935年/35ミリ/モノクロ (82分) [アメリカ]

監督：ジョン・フォード 主演：ウィル・ロジャース

30年代のフォードの作品でも傑出した作品で、飛行機事故で急逝したウィル・ロジャースの遺作。ショウボートを舞台にしたコメディ映画であり、アメリカ南部の世界が存分に描かれている。またフォード独特の世界が前面に押し出され、古き良きアメリカの暖かさを彷彿とさせる。

若き日のリンカーン

10月10日(金・祝) 15:00/10月12日(日) 15:00



1939年/35ミリ/モノクロ (101分) [アメリカ]

監督：ジョン・フォード 主演：ヘンリー・フォンダ

名作「駅馬車」に続いて製作された作品で、合衆国16代大統領エイブラハム・リンカーンの青年時代を慈しみ愛情を込めて描いた傑作。この作品の中の牧歌的なリズムの中で描かれる信念に燃える誠実なリンカーン像は、フォードの理想的な人物像の一つであり、フォードがリンカーンを尊敬していたことが伺い知れる。ヘンリー・フォンダにとっても出世作となった作品。

東京五人男

10月19日(日) 11:00/10月22日(水) 19:00



1945年/35ミリ/モノクロ (84分) [東宝]

監督：斎藤寅次郎 出演：古川緑波

戦争により得意のコメディ映画を撮ることができなかった喜劇の名手・斎藤寅次郎監督による作品。戦後初の正月映画らしく横山エンタツ、花菱アチャコ、古川緑波等のコメディアンが総出演している。戦争中、田舎の軍需工場に働いていた5人の男が久しぶりに東京に戻ってくる。そして被災した東京を復興すべく大活躍する。

悲しき口笛

10月19日(日) 15:00/10月22日(水) 14:00



1949年/35ミリ/モノクロ (83分) [松竹]

監督：家城巳代治 出演：美空ひばり

戦後の焼け跡の中でドラムカンで暮らすチビ公は、いつも元気で歌うまくみんなに可愛がられていた。チビ公には外地から引き上げてきた兄があり、お互いを探していた。手がかりはチビ公の兄が作曲した「悲しき口笛」という曲だけ。大ヒットした同名の主題歌を歌った美空ひばりは、天才歌手としてその名を知らしめた。

嵐を呼ぶ男

10月23日(木) 14:00/10月24日(金) 19:00



1957年/35ミリ/カラー (101分) [日活]

監督：井上梅次 出演：石原裕次郎

石原裕次郎を一躍国民的スターにした大ヒット作。銀座で暴れん坊で知られる国分栄一を、女性マネージャーの美弥子は新進のジャズドラマーとして売り出していく。激しい猛練習の中でしだいに栄一と美弥子は引かれあっていく。ライバル、チャーリー浜とのドラム合戦の中で、負傷した手をかばいながら裕次郎が歌うシーンは今でも有名である。

特別企画

福岡市民芸術祭協賛

[第5回福岡映像コンテスト]

福岡市内に限らず県内各地から応募されてくるアマチュアによるビデオ作品のコンテストである「福岡映像コンテスト」。優秀作品には「福岡市長賞」等の賞が送られます。

主 催：福岡映像協会
共 催：福岡市総合図書館
協 賛：福岡市
後 援：福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、西日本新聞社、福岡文化連盟、富士フィルム株式会社

会 期：10月25日(土)・26日(日)
観覧料：無料

[タイムテーブル]

10月25日(土)
…13時～学生の部入賞作品上映
10月26日(日)
…10時～表彰式、13時～一般の部入賞作品上映

[問い合わせ先]

福岡映像協会事務局
TEL:092-581-9619

二十四の瞳

10月23日(木) 18:30/10月24日(金) 14:00



1954年/35ミリ/モノクロ (156分) [松竹]

監督：木下恵介 出演：高峰秀子

主人公の若い大石先生が小豆島の分校に赴任した昭和3年から終戦の翌年までの18年間を年代記的に描いた作品。様々なシーンで歌われる日本の童謡が郷愁をそそる叙情的な傑作。12人の子供たちを演じるのは現地で募集された素人の子供たちで、20代から40代までの大石先生を演じる、高峰秀子の演技も素晴らしい。

深夜の歌声

10月29日(水) 14:00/10月30日(木) 19:00



1937年/35ミリ/モノクロ/125分 [中国]

監督：馬徐維邦 (マーシュイ・ウェイバン)

出演：金山 (チン・シャン)

この映画はアメリカ映画「オペラ座の怪人」の翻案である。オペラ座の屋上にひそむ怪人が実は革命運動の闘志であり、地主の娘と恋仲になったために、地主の手先に顔に硫酸をかけられたとい設定が当時の中国の情勢を反映している。怪人が夜な夜な歌う歌曲は、のちに中華人民共和国国家の作詞者となる作家の田漢が書いている。

街角の天使

10月29日(水) 19:00/10月30日(木) 14:00



1937年/35ミリ/モノクロ (100分) [中国]

監督：袁牧之 (ユアン・ムーチー)

出演：趙丹 (チャオ・タン)

1930年代の進歩派と呼ばれた映画運動の代表作の一つ。アメリカ映画「第七天国」を下敷きにして、日中戦争直前の上海の裏町に生きる若者の姿を生き生きと描き出した作品である。暗黒街のボスに見初められた女性と、ラッパ吹き若者の若者とのラブストーリーであり、当時スターであったチョウ・シュアンの歌が素晴らしい。

▼ 映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内 容
10	1	水	林権澤監督特集 14:00 シバジ 19:00 キムソドム
	2	木	李長鎬監督特集 14:00 風吹く良き日 19:00 馬鹿宣言
	3	金	14:00 寡婦の舞 19:00 旅人は休まない
	4	土	11:00 馬鹿宣言 15:00 風吹く良き日
	5	日	11:00 旅人は休まない 15:00 寡婦の舞
6	月		休 館 日
7	火		上映はありません
8	水	ジョン・フォード監督特集	14:00 プリースト判事 19:00 我が谷は緑なりき
9	木		14:00 周遊する蒸気船 19:00 ミッドウェイ海戦・真珠湾攻撃
10	金		11:00 我が谷は緑なりき 15:00 若き日のリンカーン
11	土		11:00 ミッドウェイ海戦・真珠湾攻撃 15:00 プリースト判事
12	日		11:00 周遊する蒸気船 15:00 若き日のリンカーン
13	月		休 館 日
14	火		上映はありません
15	水	映	14:00 ほろよい人生 19:00 ちゃつきり金太
16	木	画	14:00 ちゃつきり金太 19:00 ほろよい人生
17	金	の	14:00 鴛鴦歌合戦 19:00 歌う狸御殿
18	土	中	11:00 鴛鴦歌合戦 15:00 歌う狸御殿
19	日	の	11:00 東京五人男 15:00 悲しき口笛
20	月	歌	休 館 日
21	火	声	上映はありません
22	水		14:00 悲しき口笛 19:00 東京五人男
23	木		14:00 嵐を呼ぶ男 18:30 二十四の瞳
24	金		14:00 二十四の瞳 19:00 嵐を呼ぶ男
25	土	特別企画 福岡市民芸術祭協賛 第5回福岡映像コンテスト	13:00 ~ 学生の部入賞作品上映
26	日	特別企画 福岡市民芸術祭協賛 第5回福岡映像コンテスト	10:00 ~ 表彰式 13:00 ~ 一般の部入賞作品上映
27	月		休 館 日
28	火		上映はありません
29	水	の映画の中	14:00 深夜の歌声 19:00 街角の天使
30	木		14:00 街角の天使 19:00 深夜の歌声
31	金		月 末 休 館 日

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますので御了承ください。

ギャラリー展示「絵・地図にみる福岡藩」

会 期：9月23日(火)～10月26日(日)

会 場：福岡市総合図書館1階ギャラリー

観覧料：無料

江戸時代の福岡藩を、絵・地図で概観する。とくに武士の町である福岡部と商人の町である博多部をクローズアップする。本展示会は、城下町福岡の建設、長崎警備、博多の祭礼、福岡藩の物産の4つのコーナーに分けて展示。

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介やスケジュール、映像ホール等で開催される各種イベントなどの情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。(但し、要郵送料負担)

申込希望月より'98年3月までの郵送料(90円切手×5月分=450円)の切手を同封して、下記の宛先までお申し込み下さい。

宛先：〒814 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館映像資料課まで

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。

詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで。

映像ホール利用申し込みについて

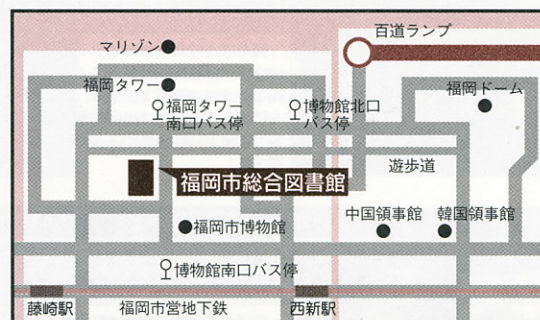
平成10年1月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期間：平成10年1月28日(水)～2月1日(日)

平成10年2月25日(水)～3月1日(日)

但し1月31日(土)、2月28日(土)は休館日(2月25日(水)～3月1日(日)の申込みは10月1日11時より受け付けます。)

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL(092)852-0600までお問い合わせください。



交通機関：地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分
西鉄バス博物館南口および
福岡タワー南口バス停留所より1分
都市高速百道ランプより車で2分



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

お問い合わせは

Tel : 092-852-0600 Fax : 092-852-0609